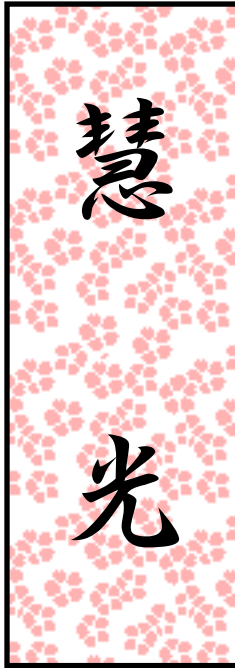




▲ マリーゴールド、綺麗ですね (10月3日撮影・藤岡富士子家にて)



金光寺寺報
第220号
発行所 金光寺
宮崎県西臼杵郡
五ヶ瀬町大字鞍岡
5927番地
☎ 0982
83-2338

今月法語カレンダーのことば

「信心」というのは ほんがんにりき え こう しんじん すなわら本願力回向の信心なり

親鸞聖人の教えの特色として真っ先にあげられるのは、他力回向の教えです。

『一念多念文意』に、「『回向』は本願の名号をもって十方の衆生にあたへたまふ御のりなり」と述べられるように、阿弥陀仏が本願力をもって、その功德のすべてをあらゆる衆生にふり向け与えられることを意味します。親鸞聖人の教えのなか、最も大切な信心についても、「本願力回向の信心」と表現されるように、信心は私たちがおこすものでなく、阿弥陀さまの本願の力・はたらきによって与えられるものであるといわれています。

師匠の法然聖人は、「源空が信心も、如来よりたまはりたる信心なり。善信房（親鸞聖人）の信心も、如来よりたまはらせたまひたる信心なり。さればただ一つなり。別の信心にておはしまさんひとは、源空がまゐらんす

る浄土へは、よもまゐらせたまひ候はじ」と仰せになりました。衆生一人ひとりがおこす信心であれば、その能力・力量によって信心の内容に違いも生じ、また、それによって生まれていく浄土も当然異なってまいります。しかし、いずれも阿弥陀如来のはたらきによってできあがった信心であるために、師匠であろうとも若年の弟子であろうとも、その内容にまったく変わるところはありません。

信心は自分で作り上げるものではなく、阿弥陀如来から賜った他力回向の信心であるということが、法然聖人の言葉に示されます。また、「如来よりたまはらせたまひたる信心」という表現には、他力回向という意味が明らかに見受けられるのです。

(本願寺出版社刊「大乘」誌掲載
『月々のことば』より抜粋 転載)

仏事お休みのお知らせ

下記の日は緊急を除き仏事は休みます。よろしくお願ひします。

- ◎ 10月
 - 17日(木) 午後
 - 20日(日) 終日
- ◎ 11月
 - 15日(金) 終日
- ◎ 2020年
 - 1月
 - 28日(火) 終日
 - ◎ 2月
 - 17日(月) 終日

ホームページ開いています。

URL <https://konkouji.jp/>

10月9日現在アクセス数 94,187人

仏教名言ノート

天を仰いで唾する

日本人宇宙飛行士第一号の秋山豊寛氏は放送局を退職し、福島県で農業を営む第二の人生を送られています。氏はかねてから、「宇宙に出てみて、地球の大切さを再認識しました。地球の環境保護のためには、農業を見失ってはいけません」と、訴え続けておられましたから、念願の野良仕事のように

した人類初の宇宙飛行士ガガーリンをはじめ、数多くの宇宙飛行士たちが、暗黒の宇宙から青く美しい地球を見て、その感激を述べています。中にはそのよくな地球にいとおいさを感じ、宗教的な道に入る人も多いと聞きました。こんな貴重な地球であるにもかかわらず、核実験を行ったり、ミサイルを打ち込んだり、自然環境を破壊したりして、地球を傷つけている人間がいます。それこそ、「天を仰いで唾をする」行為でしょう。『四十二章経』というお経に、「悪人が賢者に書をなそうとするのは、ま

るて天を仰いで唾を吐いて、唾が天に至ることなく、自分の顔に落ちてくるよくなもの」とあります。そこから、悪人と賢者に限らず、他人を傷つけようとして、かえって自分がひどい目にあうという、愚かな行いを指す諺となりました。それぞれの国が自国の利益ばかりを主張して争っている間に、肝心の地球が傷ついてしまつては、それこそ大変です。「地球は生きている」とは、宇宙飛行士たちの実感なのです。(本願寺出版社発行 辻本敬順著 「続・仏教名言ノート」から)

任職ひとりごと

すなバりてとあ半がねあたえ以冷しので定め九感くすは▼で暖すしりたの
。いイ(いのわ袖つるり▼込前えま最しさい月じらが例そす化がビまたです昔は記
こク家まなてシいとが徐むは込し低よもな末まい、年うーのー・しめすはは記
とで庭すいてヤて急た々こ九むた気う地姿にし遅見どいと影彼新たかか、め、憶力に自
(を参報▼気長ツい激いにと月こが温か球でなたく頃おわの響岸聞。め、憶力に自
、れ恩十温袖でけなの冷は中と、十?温しっ。なはりれ報か花のとつきり(よわい)があ
とる講月のシ過ま気であ旬は以一九暖たておっ例かて道遅のいいきり
も気)に変ヤこせ温す込りにあ後・月化▼も彼て年とみが見ずうり
松思温を入化ツしんのがんまそり、二中現気ま岸いよ思るあて頃れこ記
井と始りををて。変、でせれまそC旬象温だをるりとりいがかと憶
卓て雨め、と出いま化齡いんほせんをにののま過よはた、まる地不で力
郎いのます秋思すだにをくでどんな記鞍影不だぎう十の開しそ球明、が重
)ま少。参っこ。、体重とし冷。に録岡響安き、に日で花たう温でテ弱